

総括質疑

令和7年度当初予算に対する予算決算常任委員会の総括質疑が3月7日に行われました。

湯和会・公明、政和会、湯沢政策研究会の各会派から代表として計3人が質疑を行い、令和7年度の各予算の内容についていただきました。

ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。



「湯和会・公明」
兼子 正寛 委員



■湯沢駅周辺複合施設等整備事業について

質疑 民間収益施設の誘致について、今後どのような活動を行うのか伺う。

答弁 飲食業を中心に誘致活動を行っているが、余剰地の面積や収益性に対して大きな課題がある。次年度内には事業者を募集・選定し、にぎわい創出を図る。

質疑 興味を示す事業者が40社と多くあるのであれば、余剰地以外にも誘致していくべきと考えるが。

答弁 現在、整備を進めている複合施設や、中心市街地へファーストフード店等の誘致をしたい。

■有害鳥獣対策事業について

質疑 ツキノワグマの市街地への出没やイノシシ等による農作物被害が急激に拡大しているが、有害鳥獣対策にあたる実施隊員の確保状況について伺う。

答弁 各猟友会を通して実施隊員の確保に努めており、新たに5人確保し、定員100名に対し現在95人の隊員が

いる。

質疑 次年度から出務給が新たに追加されるが、危険を伴う業務であるため年額報酬の見直しを行うべきであると考えらるが。

答弁 現在のところは、出務分を優先的に報酬として設定した。今後、状況をみながら年額報酬や出務給の変更もある。

■観光情報発信事業について

質疑 これまで首都圏での観光PR等を実施してきているが、台東区をはじめ様々な自治体との友好都市連携を図ることで観光の情報発信が急速に進むと考えるが。

答弁 様々な都市と連携しながら、お互いに行き来や交流することは有効な手段であり、交流事業や都市間交流をしっかりと構築したい。友好都市などの協定についても積極的に対応していく。

■中学校部活動地域移行推進事業（運動部）について

質疑 次年度中に休日の部活動の地域移行実現を目指しているが、必要な環境整備等の現状について伺う。

答弁 先行する3競技（陸上・剣道・柔道）については、指導者や練習場の確保など基本的な環境整備は整っている。それ以外については、指導者の確保、練習場、受け皿、チーム編成等をまだ協議・検討中である。

質疑 地域のクラブ等では、「誰が監

督・コーチをするかわからない」「今後どのような不安」など、受け入れ体制の準備が整っていない中で急速に推し進めるものではないと考える。準備が整っている団体から順次移行するべきと考えるが。

答弁 令和8年度までに完全移行を目指すものではなく、種目によって組織等が異なるため個別に対応し、状況に応じて地域の方々や保護者の皆さんと話し合いを進め、柔軟な対応をしていく。

質疑 生徒や保護者の不安な気持ちに対し、今後の進め方等において、急な計画は見直し、しっかりと説明していく必要があると考えるが。

答弁 校長会や部活動の担当者の会等では説明しているが、指摘のあった点は周知不足と捉え、丁寧な説明に努めていきたい。

■学校給食センター経費について

質疑 学校給食用漆器食器が本格導入されるが詳細について伺う。

答弁 次年度に中学校分として1100個、令和8年度に小学校と稲川支援学校分として1800個が納品予定である。各年度とも長期休業中に入替作業を行い、2学期から使用を開始する。

質疑 長年かけて食器洗浄機に対応した漆器のお椀がやっと完成した。これを近隣自治体などで活用いただければ産業の発展等に良いと考えるが。

答弁 食器洗浄機に対応した食器は活